

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年11月12日～11月18日)

平成 27 年(2015 年)11 月 20 日

H E A D L I N E S

政治

シドゥウオ新内閣が発足
シドゥウオ首相, 下院にて施政方針演説
ポーランド政府のパリ連続テロ事件への対応
マチェレヴィチ国防相, EU国防会合に出席

経済

12月には新政権予算編成の見通し
第三四半期のGDP成長率は3.4%
10月のインフレ率は対前年同期比0.7%減
12月のCPIはプラス見込み
2016年の倒産件数見通しは-3%
LOTの新戦略
ウクライナからの労働者数の上昇
造船業の立て直しに意欲—新海事経済大臣
ポーランドの10月新車登録台数が上昇
シフィウイシチェLNG基地でのLNG受入れ手続きが完了
新エネルギー大臣の発言

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について
ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館
ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

シドゥウォ新内閣が発足【16日】

16日、大統領府においてシドゥウォ内閣の任命・宣誓式が行われ、同内閣が正式に発足した。閣僚の顔ぶれは、9日に与党「法と正義」(PiS)が発表した閣僚候補と同じであり、副首相兼開発相にマテウシュ・モラヴィエツキ前BZ・WBK銀行総裁、副首相兼文化・国家遺産相にグリンスキ下院議員、副首相兼科学・高等教育相にゴヴィン元法相、外相にヴァシチコフスキ元外務次官、国防相にマチェレヴィチ元法相、法相にジョブロ元法相、財務相にシャワマハ元国有財産副大臣等が就任した。ドゥダ大統領は、任命にあたり、内閣の任務は大きな義務であり、自分はシドゥウォ内閣と共にポーランド関連案件への全ての責任を有している、故カチンスキ大統領が述べたように、ポーランドはより弱い国を助け、より強い国を恐れることのない強い国家にすべきである旨述べた。

シドゥウォ首相、下院にて施政方針演説【18日】

18日、シドゥウォ首相は、下院にて新政権の施政方針演説を行い、政府の最優先課題が「ポーランドの安全確保」であり、政策プログラムにおいて「成長」を最重要視する姿勢を示した。また、同首相は、政権発足後100日間において、2人以上の子供を持つ家庭に対する第2子目以降1人当たり毎月500ズロチの補助金の支給(貧困家庭においては第1子目から支給)、年金受給開始年齢の男性65歳、女性60歳までの引き下げ、75歳以上の高齢者への薬の無償提供等を実現したい旨述べた。外交安全保障については、伝統的な軍事安全保障、経済安全保障、国際社会における然るべき地位の獲得の重要性を強調し、難民問題に関しては、同問題への連帯を明確に示すべきであるが、右連帯は緊急事態への支援姿勢といった善意のものでなくてはならない旨述べた。なお、同日夜に下院にてシドゥウォ政権に対する信任投票が行われ、賛成236票、反対202票、棄権18票で同政権は信任された。

外交・安全保障

ポーランド政府のパリ連続テロ事件への対応【14日～18日】

13日夜にパリにて連続テロ事件が発生したことを受けて、14日、ドゥダ大統領はオランド仏大統領に対し弔意の書簡を發出した。また同日、ドゥダ大統領及びシドゥウォ次期首相(当時)は、ワルシャワ市内のフランス大使館を訪問し、献花・記帳等を行った。

18日、ドゥダ大統領はオランド仏大統領と電話会談を行い、同テロ事件へのお悔やみの言葉を述べ、ポーランド国民のフランスへの連帯を表明した。また同大統領は、今次テロ事件は欧州の価値観に対する攻撃であり断固として非難する、ポーランドはフランスの同盟国であり、テロの脅威との戦いにおいて

支援を行う用意がある旨述べた。

マチェレヴィチ国防相、EU国防会合に出席【18日】

17日、ブリュッセルにおいて開催されたEU国防相会合にアントニ・マチェレヴィチ国防相が出席した。同会合で、仏は、EU条約第42.7条(武力攻撃を受けたEU加盟国への他のEU加盟国による援助支援義務を定める)に基づき援助と支援を求め、これに対し、ポーランドを含むEU加盟国の国防大臣は、求められ必要とされるすべての援助と支援を提供する用意があることを全会一致で表明。本条項を使用するのはEU史上初。

経 済

経済・財政政策

12月には新政権予算編成の見通し【16日】

財務大臣によれば、PiSは2016年予算案改正を12月に下院に提出の見込み。同大臣によれば来年の財政赤字は10-15億ズロチ増の見通しで、家族

重視政策、部門別課税等の新政権の目標は達成可能であり、年後半にはより効果的なVAT徴収制度を導入したいとのこと。

マクロ経済動向・統計

第三四半期のGDP成長率は3.4%【13日】

中央統計局(GUS)速報によれば、2015年第三四半期のGDP成長率は対前年同期比3.4%増、対前四半期0.9%増であり、今年いっぱい最低で

も3.3%の成長は維持できるとの見通し。成長要因は鉱工業生産、建設、部品製造であり、貿易・サービス部門の寄与は低いとのこと。

10月のインフレ率は対前年同期比0.7%減【13日】

GUSによれば、10月のインフレ率は対前年同期比0.7%減、対前月比0.1%増。他方、経済省予測によれば11月のインフレ率は対前年同期比0.4%減であり、これは食料品価格の上昇が見込まれるためとしている。

12月のCPIはプラス見込み【17日】

中央銀行(NBP)総裁によれば、12月の消費者

物価指数(CPI)はプラスに転じる見込みとのこと。但し、2016年に政策金利と同じ1.5%に達する可能性は低いとの見通し。

2016年の倒産件数見通しは-3%【17日】

Euler Helmes社によれば2016年の倒産件数は3%減となる見込み。同社分析によれば、これは輸出産業が依然としてポーランド経済に大きな影響力を持っているためとのこと。

ポーランド産業動向

LOTの新戦略【12日】

Plus Business報道によれば、ポーランド航空(LOT)は2020年までに利用者数を現在の2倍の1,000万人まで増やすとともにワルシャワを乗継ハブ空港とすることを目指している。そのため現在1,350名の従業員に加えパイロット90名、その他人員200名を雇用予定。

ウクライナからの労働者数の上昇【13日】

ポーランド中央銀行のデータによると、ウクライナからの労働者の数は増加している。同行は、2015年第2四半期のウクライナ人労働者の収入が急激に増えた(前年同期比77.3%増)ことは、多くのウクライナ人労働者がポーランドでの仕事を始めた結果と分析している。

造船業の立て直しに意欲－新海事経済大臣【17日】

多くの専門家は今回のシドゥウオ政権において海

事経済・河川交通省が立ち上げについて好意的に評価している。海事経済・河川交通大臣に任命されたグルバルチク氏の主な担務は造船業、海運事業者、漁業、港湾政策そして海洋教育制度に関する再建である。同大臣は、インタビューの中で、海運・内陸水運の開発に加え造船業の再建について強調した。また、ヴィスワ川やオドラ川の航行については、1996年の内陸水運に関するヨーロッパ合意をポーランドはまだ批准していないことを指摘した。

ポーランドの10月新車登録台数が上昇【18日】

欧州自動車工業会(ACEA)によると、2015年10月の新車(乗用車)登録台数は29,062台となり、前年同月比1.3%の増加となった。1月から10月までの乗用車の登録台数は前年同期比5.0%増の287,302台であった。専門家によれば、2015年第3四半期までの登録台数を高級車と大衆車の別にみた場合、前者は16%の増加だったのに対し、後者は4%の増加にとどまっている。

エネルギー・環境

シフィノウィシチェLNG基地でのLNG受入れ手続き完了【17日】

シフィノウィシチェLNG基地を運営するPolskie LNG社は、12月半ばに到着するLNGの受入れに必要な全ての書面上の完了を済ませたとインタビューに答えた。2016年の第1四半期には2回目のLNG輸送が行われる予定となっている。

新エネルギー大臣の発言【17日】

チフジェフスキ新エネルギー大臣(エネルギー省設立後にエネルギー大臣という名称になる予定)は、

プレスのインタビューに答え、エネルギー省はエネルギー、鉱業及びガスを所管し、数段階を経て設立されると述べた。まずは鉱山を関連企業の監督を含め所管し、エネルギーの所管と進めていくという。炭鉱の救済策については、雇用の確保が最重要と述べつつも具体的な内容には言及しなかった。また、現時点でエネルギー源としては石炭が最も重要なものであり、原子力や再生可能エネルギーについては、新たな発電の導入を否定しなかったが、あくまで補助的なものとしての位置づけであると述べた。

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji_anketo20151106.html

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

【開催中】展覧会:「俳優, 人形, 影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面, 服装, 小道具, 楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 根付や屏風, 着物, 楽器, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】展示会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて, グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 茶道具, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: シロンスク県, グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a

詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

【開催中】陶器展【11月17日(火)～30日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて, 陶芸家協会「ケラモス」による花器の陶器展が開催されます。ワルシャワ生け花会による生け花のコラボレーション展示も20日まで行われます。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】第16回キュープラムカップ【11月21日(土)】

レグニツァ市にて、松濤館空手クラブ「トラ」主催による国際空手選手権大会『第16回キュープラムカップ』が開催されます。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, レグニツァ市, ul. Wierzyńskiego 1

詳細: <http://toralegnica.eu/>

【予定】水曜映画上映会「春との旅」【11月25日(水)17:30~】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「春との旅」が開催されます(日本語音声, 英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】国際現代デッサン・フェスティバル「Think Tank lab Triennale」【12月3日(木)~1月3日(日)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ市美術大学主催による国際現代デッサン・フェスティバル『Think Tank lab Triennale』が開催されます。日本とポーランドの現代アーティストによる「Two Sticks」展が予定されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, pl. Polski 3/4

詳細: <http://ttt.wroclaw.pl/en>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)